



BCP（事業継続計画）策定の勧め

岩手大学名誉教授 工学博士
産業保健相談員 大塚 尚寛

拡大が続く新型コロナウイルス感染症ですが、世界保健機関（WHO）が「パンデミック（世界的大流行）」と表明したことを受けて、感染の拡大・長期化に伴う日常生活や経済活動への影響が懸念されています。このたよりが皆様のお手元に届くころには、沈静化の方向に進んでいることを願うばかりです。

もし皆様の職場で感染者が確認された場合に、企業ではどのような対応が必要になるのでしょうか？ 保健所は患者との接触者を調べた上で、企業活動への助言や提案はするが、事業停止などの決断は企業が負うことになるということです。そこで、「災害時に備えて策定されることが多い BCP を感染症対策にも適用できるものにするなど、非常時の行動指針を見直す必要がある」と考えられます。ところで、皆様は BCP という言葉をご存じでしょうか？ BCP とは、Business Continuity Planning の頭文字をとった言葉で、日本語では事業継続計画といいます。すなわち、自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態が発生したときに、企業の損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。いわば、企業が緊急事態に際して判断のよりどころとするのが BCP です。緊急事態は突然発生します。有効な手を打つことがきでなければ、経営基盤が脆弱な中小企業などでは、倒産に追い込まれる恐れもあります。

わが国で BCP の概念が浸透し始めたのは、東日本大震災を体験して、非常時に影響を最小限に抑えながら事業を継続したり、早期に復旧したりするために、企業が個々に手順をまとめておく必要があると考えられるようになってからです。現状では、首都直下型地震や南海トラフ巨大地震などの大災害の発生が想定される地域で BCP 策定の機運が高まっていますが、BCP を策定済みの企業は大企業を中心に全国で 15%程度にとどまっているとのことです。さらに、BCP は災害対策のイメージが強く、今回のような感染症をリスクと捉えて策定している企業は、これまで殆どないようです。過去には、2009 年の新型インフルエンザの世界的流行を受けて、国が感染症対策を主眼にした BCP の策定を促しましたが、当時は東日本大震災の発生前でもあり、企業活動を止めるほどの深刻さを持って受け止められなかったようです。

今回の新型コロナウイルス感染症問題を契機として、皆様の職場でも、地震、津波、台風、豪雨といった頻発する自然災害ばかりでなく、感染症の流行やパンデミックまでも想定して、事業中断からの復旧（事業継続対応）を焦点とする「事業継続マネジメント（BCM）」と、予防から応急復旧にいたる緊急事態対応を焦点とする「緊急事態管理」の考え方を統合した BCP の策定を検討されてはいかがでしょうか。



今年度も当センターの研修会は盛りだくさんの内容で開催いたしますが、新型コロナウイルス感染症が拡大しているところです。今後の状況によっては、研修会に参加される皆様の健康・安全を考慮し、**4月以降の研修会を延期・中止とする可能性がございます**。開催の有無につきましてはホームページでご確認ください。

研修会参加時には、マスク持参・アルコール消毒・手洗いへのご協力をお願いします。また風邪のような症状のある方は参加を見合わせてくださるようお願い申し上げます。

INDEX	1.研修会の開催予定	2.両立支援コーディネーター基礎研修 in岩手
	3.ご利用案内	4.コラム - 産業保健相談員から -

1. 研修会の開催予定

岩手産業保健総合支援センターでは、産業医、衛生管理者、衛生推進者、健康管理担当者、産業看護職、人事労務管理担当者、管理職、事業主等の「産業保健スタッフ」の活動を支援するため、健康対策や労働衛生対策、メンタルヘルス対策等に関する研修会を開催しております。ぜひ、ご参加ください。

お申込み・お問合せは、当センターまで、**電話 019-621-5366/FAX 019-621-5367** 又はホームページ (<https://www.iwates.johas.go.jp/>) のメールフォームからどうぞ。

5月開催

日時、場所	研修テーマ等	実施内容	定員
5月20日(水) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 811 研修室	労働衛生対策等研修 テーマ：メンタルヘルスとストレスチェック1 ①ストレスチェック実施のための制度・規程作成のポイント 講師：佐々木 誠 【佐々木誠社会保険労務士事務所 所長、社会保険労務士】 ②労働者のセルフケアの進め方について 講師：産業保健相談員 藤井 由里 【精神保健福祉士、臨床心理士】	ストレスチェック制度を効果的に進める上で必要となる社内規程の整備、労働者への意識付けのためのセルフケアの進め方について学びます。	20名
5月21日(木) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 802 会議室	労働衛生対策等研修 テーマ：職場における受動喫煙防止対策 ①喫煙が及ぼす人体への影響 講師：産業保健相談員 立身 政信 【岩手県予防医学協会 産業保健支援部長、医学博士】 ②設備による受動喫煙防止対策 講師：産業保健相談員 大塚 尚寛 【岩手大学名誉教授、工学博士】	4/1 から健康増進法改正の全面施行に伴い施設対策、健康教育はお済でしょうか。喫煙が及ぼす人体への影響と、喫煙室や換気装置を設置する場合に考慮すべき事項や必要な能力などについて学びます。	20名
5月28日(木) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 810 研修室	労働衛生対策等研修 テーマ：メンタルヘルス対策1「外部支援機関の活用」 ①岩手県精神保健福祉センター 講師：未定 ②岩手障害者職業センター 講師：未定	メンタル不調をきたした、又は疑われる従業員がいる。そんなときどのような公共機関でどのようなサポートをしてもらえるか。公共機関で活躍されているカウンセラーや心理職の職員から学びます。	20名

6月開催

日時、場所	研修テーマ等	実施内容	定員
6月3日(水) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 812 研修室	労働衛生対策等研修 テーマ：メンタルヘルスとストレスチェック2 ①メンタルヘルスとストレスチェック 講師：産業保健相談員 山田 恵子 【看護師、産業カウンセラー】 ②集団分析結果に基づく職場環境改善 講師：産業保健相談員 藤井 由里 【精神保健福祉士、臨床心理士】	実際のストレスチェックの進め方から、ストレスチェックの実施結果を活かした職場の環境改善までをトータルのに学びます。	20名
6月8日(月) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 802 会議室	カウンセリング研修Ⅰ テーマ：メンタルヘルスと職場のコミュニケーション 「人との交流を効果的にする方法」 講師：産業保健相談員 今松 明子 【精神保健福祉士、産業カウンセラー】	コミュニケーションの基本について学ぶ4回シリーズの1回目。グループワークなどを取り入れた研修会です。楽しみながらコミュニケーションについて学んでみませんか。	20名
6月10日(水) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 701 会議室	労働衛生対策等研修 テーマ：職場における疾病・疾患対策 ①脳・心臓疾患、腎疾患対策 講師：産業保健相談員 大澤 正樹 【盛岡つなぎ病院 診療部長、医師】 ②過重労働者の面接指導後の対応について 講師：産業保健相談員 茂木 隆 【岩手県予防医学協会 産業保健部長、医学博士】	岩手県は脳卒中死亡率第1位。岩手県でも、健康いわて21プランの重点課題としています。脳卒中、心疾患、腎疾患について、過重労働者の面接指導後の対応について学びます。	20名
6月22日(月) 13:30~16:30 盛岡 アイーナ 802 会議室	カウンセリング研修Ⅰ テーマ：メンタルヘルスと職場のコミュニケーション 「コミュニケーションを阻害する問題を見つけていこう」 講師：産業保健相談員 今松 明子 【精神保健福祉士、産業カウンセラー】	4回シリーズの2回目。相手の意思を伝えることの難しさ、難しくしている要因、解決方法などについてワークを取り入れ、体験しながら学びます。	20名
6月27日(土) 14:00~16:00 盛岡 岩手県医師会館	産業医研修 テーマ：職場のメンタルヘルス対策 ①1次予防～3次予防、4つのケアなど職場の各種対策に関する産業医の役割・取り組み ②長時間労働及び高ストレス者にかかる医師の面接指導 講師：産業保健相談員 青木 慎一郎 【岩手県立大学 健康サポートセンター 特任教授、認定産業医】	認定産業医限定の研修会です。	30名

(注) 研修については、実施内容、講師等について、予告することなく変更する場合があります。当センターのホームページでご確認ください。QRコードからどうぞ。



2. 両立支援コーディネーター基礎研修 in 岩手

日 時：令和2年7月11日(土) 9:45~18:15

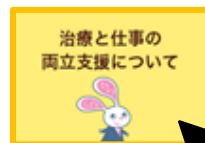
場 所：アイーナ(いわて県民情報交流センター)

申込受付期間：6月1日(月) 13:00 ~ 6月5日(金) 17:00

募集対象者：医療機関に勤務する医療従事者、企業等において両立支援に携わる方。

お申込みにあたっては、注意事項をご確認ください。

◎受講料は**無料**となっております。



☆詳しくは、当センターホームページ『**治療と仕事の両立支援について**』から！

3. ご利用案内

■ 「岩手産業保健総合支援センター」をご利用ください。

≫≫ 「**産業保健関係者に対する専門的研修**」を実施しております。

岩手産業保健総合支援センターでは、産業医、産業看護職、衛生管理者等を対象として、産業保健に関する様々なテーマの研修を実施しています。

研修スケジュールにつきましては、当センターホームページ等でご確認ください。

≫≫ 「**個別訪問支援**」をお受けしております。(※無料です。謝金・交通費等は一切いただきません。)

メンタルヘルス対策や化学物質対策等の職場環境改善等について専門員が皆様の事業場に直接赴き、問題点について意見交換しながら、現場の状況に応じた改善方法をアドバイスしております。

お問い合わせは、当センターまでお願いいたします。

≫≫ 「**治療と仕事の両立支援**」をご利用ください。

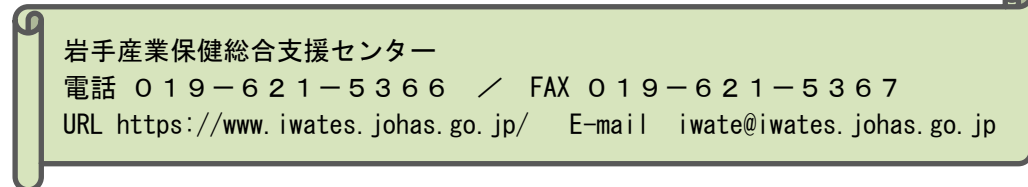
「がん」などの長期治療が必要な労働者が、就労を継続するために必要なアドバイス等について、事業場・労働者に対する専門的相談や個別訪問支援を行います。出張相談窓口も開設しております。

お問い合わせは、当センターまでお願いいたします。

≫≫ 「**産業保健関係助成金**」をご利用ください。

「治療と仕事の両立支援助成金」の取扱いを行っています。

詳しくは、[「産業保健関係助成金」](#)で検索してください。



■ 「地域産業保健センター」をご利用ください。

≫≫ 地域産業保健センターでは、労働者50人未満の事業場を対象に、健康相談、長時間労働者の面接指導、ストレスチェックの高ストレス者の面接指導を無料で行なっています。

また、健康対策等の御相談について直接事業場の状況を見ながら、改善のアドバイスも行っています。

お問い合わせは、お近くの各地域産業保健センターまでお願いいたします。

【地域産業保健センター 一覧】

□盛岡地域産業保健センター	020-0013	盛岡市愛宕町18-6 盛岡市医師会内	019-654-2164
□宮古地域産業保健センター	027-0061	宮古市西町1-6-2 宮古市医師会内	0193-62-5880
□釜石・遠野地域産業保健センター	026-0034	釜石市中妻町3-6-10 釜石市医師会内	0193-23-9966
□遠野窓口	028-0522	遠野市新穀町1-11 とびあ2階 遠野市医師会内	0198-62-9182
□花巻地域産業保健センター	025-0075	花巻市花城町3-3 渡邊花巻ビル2階 花巻市医師会内	0198-22-3881
□一関地域産業保健センター	021-0884	一関市大手町3-40 (株) 岩手日報社一関支社ビル5F 一関市医師会内	0191-23-5110
□気仙地域産業保健センター	022-0003	大船渡市盛町字内ノ目6-1 気仙市医師会内	0192-27-6700
□二戸・久慈地域産業保健センター	028-6101	二戸市福岡字八幡下11-1 二戸市総合福祉センター 二戸市医師会内	0195-23-4466
□久慈窓口	028-0056	久慈市中町1丁目37番地久慈市役所分庁舎2階 久慈市医師会内	0194-53-0114